

(令和6年7月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	7月は、6月に気温の高い日が続き、降水量がかなり少なかった影響で、一部品目の生育が悪く、総入荷量は前年同月比で8%下回り、総取扱金額は前年同月並みであった。今後は、葉菜類や果菜類では高温障害の影響が懸念され、引き続き不安定な入荷となることが予想される。 8月は、野菜では、枝豆やとうもろこしが最盛期を迎える。果実では、ぶどう類の入荷が増え、りんごやなし類の入荷が始まる。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で6%下回り、単価は11%上回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は16%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は5%上回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は9%上回った。 土物類の入荷量は前年同月比で7%上回ったが、全国的な品薄感の影響等により単価は32%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で17%下回り、単価は10%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は10%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で23%下回り、単価は8%上回った。 もも類の入荷量は前年同月比で12%下回り、単価は14%上回った。 ぶどう類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は7%上回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で6%下回ったが、単価は前年同月並みであった。 すいか類の入荷量は前年同月比で27%下回ったが、単価は前年同月並みであった。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん	北海道を中心に、青森、長野、富山、群馬からも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は６％上回った。 北海道、和歌山、青森を中心に、長崎、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１７％上回ったが、天候不順で全国的に品薄感が強く、単価は２３％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	長野を中心に、山梨からも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は９％上回った。 群馬、長野を中心に、滋賀、茨城、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回ったが、高温の影響で品質が低下し、単価は１９％下回った。 岐阜を中心に、茨城、京都、静岡、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は５％上回った。 長野を中心に、群馬、滋賀、兵庫、熊本などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１２％上回った。
【果菜類】 きゅうり なす	福島、京都、愛媛、長野を中心に、北海道などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回り、単価は３０％上回った。 京都を中心に、徳島、群馬、高知、香川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は１４％上回った。

とまと	北海道を中心に、岐阜、熊本、福岡、京都などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％下回り、単価は１０％上回った。
ピーマン	大分を中心に、兵庫、茨城、韓国、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回ったが、単価は前年同月並みであった。
【土物類】 ばれいしょ （メイクイン含む）	千葉、北海道、茨城、長崎を中心に、静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２７％上回ったが、天候不順で全国的に品薄感が強く、単価は６０％上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に、北海道、滋賀、京都、中国などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、天候不順で全国的に品薄感が強く、単価は６１％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ハウスみかん	長崎を中心に、佐賀、和歌山、宮崎からも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は１２％上回った。
富士 （サン富士含む）	青森を中心に、秋田などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回り、単価は３％下回った。
もも	山梨を中心に、福島、長野、和歌山、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％下回り、単価は１４％上回った。
巨峰	福岡を中心に、山梨、鳥取、長野からも入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は５％上回った。
アールスメロン	京都を中心に、茨城、静岡、高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１５％上回り、単価は１７％下回った。
大玉すいか	鳥取、山形、長野を中心に、京都、石川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２８％下回ったが、単価は前年同月並みであった。